

学びだより

『夢中で学ぶ子』

～「気づき・問い」を生み出す・進んで対話する・自分の考えを豊かに表現する～

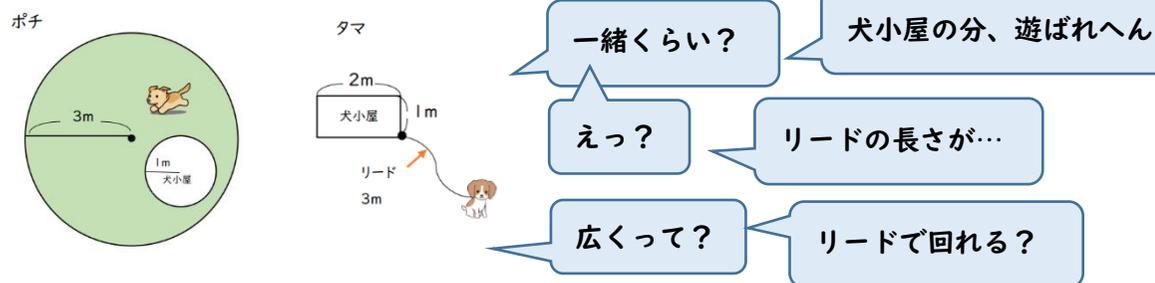
「お話の流れ」がある授業

和泉市立信太小学校
授業改善担当 辻川翔太
令和5年6月15日
第2号

6年生 算数「円の面積」

6月6日（火）5時間目に、6年2組で算数の研究授業を行いました。単元は「円の面積」です。この日までに、円の面積の求め方を学習してきました。当日は、円の面積を用いた活用問題に取り組みました。

問題は「ポチとタマは、どちらが広く遊べるでしょうか。」です。



問題と出会い、自由につぶやく6年2組。まずはポチの遊べる面積から考えました。

昨日の③の考え方で、ポチの遊べる広さを調べてた



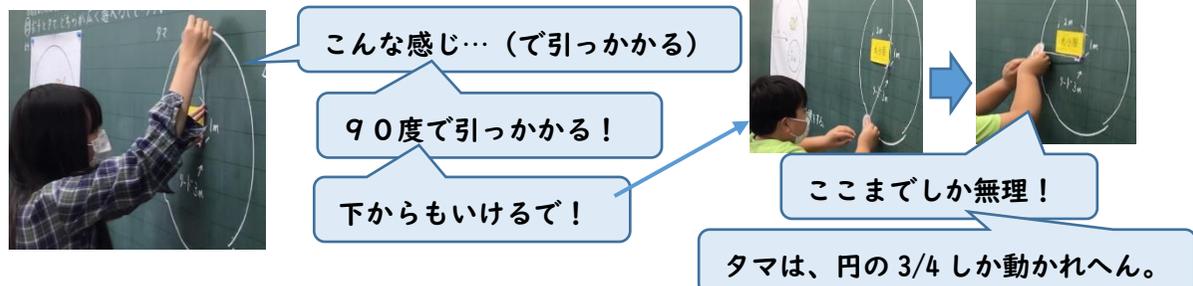
ノートをめくり、昨日の学習を想起しながら考えたようです。そして、「全体の面積－犬小屋の面積」をすることが語られていきました。次にタマの遊べる面積が話題になりました。

リードって回るん？ うん、リードの長さが半径になる 円ができる

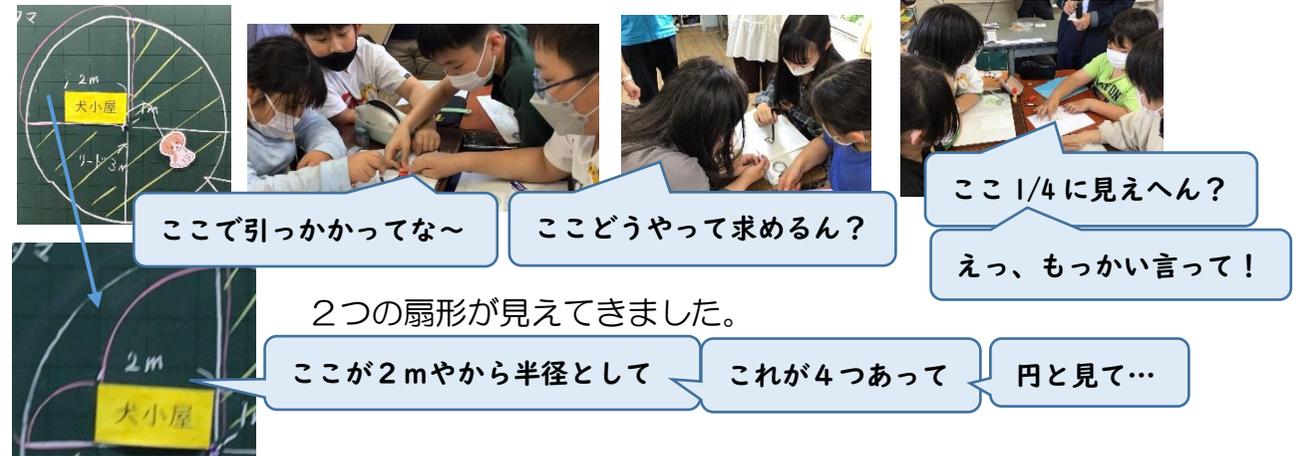
と、「気づき」を生み出します。それに対して「問い」になるつぶやきが聞こえました。

貫通していいん？ えっ？ ひっかかる？ 犬小屋がじゃまやねんな

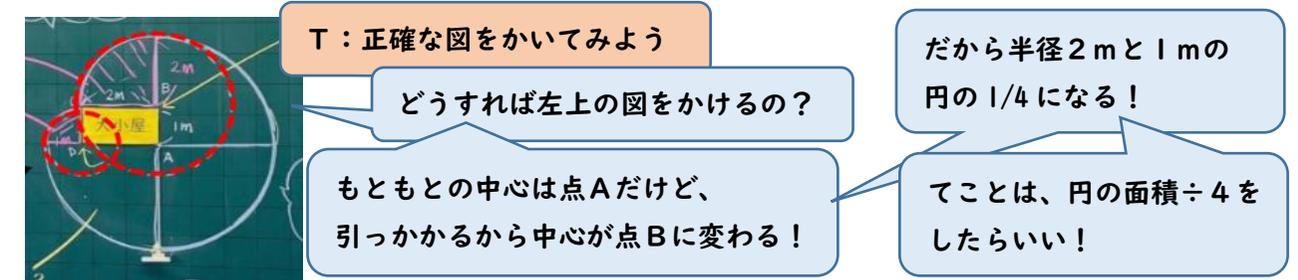
実際に黒板で操作してみると・・・



ここからお話の流れは「円の左上部分でどういう動きをするのか？」となりました。グループの仲間と聴き合いながら考えました。進んで対話する姿が見られました。

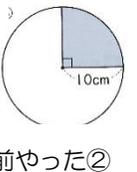


ここでチャイムが鳴り、この時間は終わりとなりました。以下は次の日の様子です。



実際に作図し円の中心を意識することで、大小異なる2つの扇形の求め方が分かってきました。さらには、こんな気づきも出てきました。

もともとないところを、あるものとして見たらいい。
前やった②のやつみたいに、円の1/4だけを求めるけど、円は見えてないから、円があるとして考える。



今回の授業で良かったのは、自分なりの気づきや問いを生み出していくにつれ、自分たちで授業（お話の流れ）を創っていったことです。中には、「正しい考え・答え」だけと言わないといけないと思っている人がいるかもしれませんが、でも、正しいことだけしか言えないのなら、授業はただの答え合わせ大会になってしまいます。それでは、「みんな」で学ぶ必要はないですよ。そうではなく、自分の素直な気づきや問いを大切にしたいのです。これからも問題に自ら関わり、自分の素直な気づきや問いを大切に、仲間の話を聴きながら、みんなでお話の流れを創っていけるように頑張りましょう。

研究授業の後は、教員がグループごとに分かれ「どのような学びがあったか」「これから学校全体で大事にしていきたいことは？」等、意見を交流しました。

今後、「クラス全体の中で分からないことを発信できる子を育てる」「教科の言葉とその意味理解を確実に定着させる」ことを共有しました。学校全体で取り組んでいきます。